

科目名	病態運動学			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 障害を有した患者様の姿勢分析、動作分析についての知識を学習し、予測できるimpairmentを抽出する。								
〔授業全体の内容の概要〕 病態の講義と障害をもつ患者様の映像を分析しレポートを作成する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 impairmentを追求し解釈する。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	CVAの寝返り							
3	CVAの立ち上がり							
4	CVAの立ち上がり							
5	CVAの歩行							
6	CVAの歩行							
7	失調の立ち上がり							
8	失調の立ち上がり							
9	失調の歩行							
10	失調の歩行							
11	パーキンソン病の寝返り、起き上がり							
12	パーキンソン病の寝返り、起き上がり							
13	パーキンソン病の立ち上がり、歩行							
14	パーキンソン病の立ち上がり、歩行							
15	膝OAの疼痛、overuseについて							
16	ACL損傷、半月板損傷							
17	変形性股関節症の病態と評価							
18	変形性股関節症の病態と評価							
19	股関節の構造、FAIについて							
20	ペインについて							
21	大腿骨頸部骨折の病態、評価							
22	大腿骨頸部骨折の病態、評価							
23	股関節OAについて							
24	肩関節脱臼、肩甲胸郭関節機能評価							
25	変形性膝関節症の病態と評価							
26	変形性膝関節症の病態と評価							
27	アキレス腱周囲障害、足部障害の病態評価							
28	足関節靭帯損傷の評価							
29	脊柱管狭窄症、腰痛の理学療法学							
30	脊柱管狭窄症、腰痛の理学療法学							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
テキストは使用せず、適宜資料を配布する								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
試験で判定する								